

社会学委員会分科会の設置について

分科会等名： ジェンダー研究分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	社会学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員または連携会員
3	設置目的	ジェンダー学は、学際的研究領域ではあるが、特定の社会的領域を区切ることなく扱うことができる社会学と、一定の親和性を持っている。それゆえ、社会学はわが国におけるジェンダー学の構築において、非常に大きな役割を果たしてきた。現代社会は、冷戦終結後、非常に大きな変革期を迎えており、家族・労働・政治・福祉などの各社会領域において、激変ともいえるような変動状況にある。ジェンダー学はこうした各社会領域の変動を分析する一視角として、非常に有効な方法論を備えているが、その分析視角を生かすためには個別の専門領域を超えたアジェンダ設定が必要である。本分科会は、現代社会分析においてジェンダー学が果たしうる役割を、明確化し、専門領域を超えた連携の可能性を検討することを、設置目的とする。
4	審議事項	ジェンダー学の方法論の批判的検討 現代社会分析に対してジェンダー学がなしうる貢献は何か ジェンダー学への各専門分野の連携の可能性
5	設置期間	期限設置 年 月 日～ 年 月 日 常設○
6	備考	